

進路だより

第 20 号

令和 4 年 9 月 28 日
新座市立第二中学校
第三学年進路指導部発行

～受験まであと 4 ヶ月～

第三回の進路希望調査を行いました。第 1 志望の割合は、県内公立高校が約 67%、県内私立・国立高校が約 15%、県外私立・国立高校が約 10% という結果でした。

しかし、まだ志望校が固まっていない人も多く、これから本格的に受検校（受験校）を絞っていくこととなります。特に県公立高校が第 1 志望の人は、併願校も決めなくてははいけません。試験がある以上、残念ながら第 1 志望の高校に合格できない場合も当然あり得ますので、併願する高校は慎重に選ぶ必要があります。そして、私立高校の試験の方が県公立の学力検査より先にあり、その多くは 1 月 22 日頃から行われますので、多くの人が受験まであと 4 ヶ月くらいということになります。

勉強は続けないと力がつきません。特に受験勉強のように学習する範囲が広がると、成果が出るまでに 2～3 ヶ月かかります。まだ、あまり計画的に学習が進められていない人も今からやればまだ間に合います。学習の習慣をしっかりと身につけて下さい。学習の習慣がきちんと身につけている人は、自分の得意・不得意を分析して、それぞれの教科や分野にあった学習をしているか、もう一度見直しましょう。

◇私立高校の推薦制度について◇

10 月、11 月は高校の説明会がたくさん予定されています。11 月の三者面談に向けて、併願校についても考えることが必要です。私立高校では、個別相談も始まりました。私立高校を推薦受験するためには、単願（第 1 志望）、併願（第 2 志望）にかかわらず、個別相談会への参加が必要です。高校によっては、個別相談は説明会参加者のみ対象というところもあります。これからは、実際に受験する学校を選ぶという気持ちで、説明会や個別相談会に参加してください。

私立高校には、様々な推薦制度があります。推薦の基準は高校によって様々ですが、通知表の成績や校外テストの結果によって、基準が決まっている学校がほとんどです。

私立高校が第 1 志望の人は、単願推薦という受験の方法が一般的です。推薦制度がない場合や、推薦の基準を満たしていない場合には、一般単願や第 1 志望という形で受験する場合があります。いずれにしても「単願」「第 1 志望」で受ける場合は、それだけ優遇してもらえるということですから、合格したら必ずその学校へ進学しなければなりません。

県公立高校が第 1 志望の人は、併願推薦という受験の方法が一般的です。こちらでも推薦制度がない場合や、推薦の基準を満たしていない場合には一般受験という形になります。併願の場合は推薦で受験しても第 1 志望の高校に合格すれば、併願の高校には進学しなくてもよいということになります。ただし、延納手続き（手続きをすれば、県公立高校の発表が終わるまで、入学手続きを待ってくれるというもの）が必要な高校もありますので、必ず確認しておいてください。手続きを忘れると合格が取り消しになってしまいます。具体的には、併願の私立高校に合格したときに延納金等が必要になる高校がありますし、また、県公立高校の合格発表の当日に併願の高校の入学手続きを終わらせなくてはならない高校もあります。手続きは 1 日でも遅れてしまうと、合格が無効になってしまいます。各私立高校の募集要項をよく読んで、しっかりと確認しておいてください。

募集要項（願書も入っています）は、そろそろ各高校で配布が始まります。有料の高校と無料の高校がありますが、説明会等で配布されていますので、受験する高校が決まったら早めに手に入れておくと安心です。

私立高校の場合は、単願・併願にかかわらず、個別相談にいけば、合格の可能性を教えてくれる場合がほとんどで、成績の基準に多少足りなくても、個別に相談すれば、『推薦受験して下さい』と言われる場合もあります。また、その学校の推薦制度についても詳しく教えてくれますので、早めに相談会へ足を運んで下さい。公立高校と違い、私立高校の場合は、相談会へ何回も行った方が有利になる場合もあります。

中学校長の推薦は二中の基準があるので、高校の先生に「学校長推薦で受けて下さい」と言われても二中の会議の結果を待ってもらうこととなりますが、**自己推薦や保護者推薦については自由に利用して下さい**。ただし、試験であまりにも点数がとれなかった場合や、面接の態度に問題があった場合など、不合格になる場合もありますので、注意が必要です。また、学校によっては、推薦といっても少し点数を加えてくれるだけで、試験で高得点をとれないと不合格になる学校もあります。推薦という制度がなく、一般受験だけの高校もあります。このような高校を受験する場合には、できれば他に併願受験をする高校を選んでおくようにしましょう。

個別相談に参加するときの注意事項としては、成績の基準が少し足りないときに、高校の先生もはっきりと「ダメです」とは言いにくいので、言葉を濁すことがあります。その結果、「推薦受験ができるかどうかよくわからなかった」ということになっては困ってしまいます。もし、よく分からないと感じたら、ハッキリと「**推薦受験ができますか？**」と聞いて下さい。残念ながら、推薦で受験できなかった場合は、一般受験をするかどうかをよく考えて決めて下さい。また、今後の進路相談をスムーズに行うために、個別相談に行ってきた場合はその結果を必ず担任の先生に伝えるようにしてください。

【高等学校等の説明会・体験入学などの連絡】（リーフレット等は江森まで）

◇帝京高等学校（要予約 詳細は HP にて）

学校説明会:10/15(土),29(土),11/26(土),12/3(土)

蜂桜祭(文化祭):10/1(土),2(日)

◇拓殖大学第一高等学校（要予約 詳細は HP にて）

学校説明会:10/15(土),29(土),11/6(日),13(日),19(土),26(土)

◇國學院高等学校（要予約 詳細は HP にて）

学校説明会:10/22(土),11/5(土),26(土),12/3(土)

入試問題解説会:10/2(日)

◇東亜学園高等学校（HPより要予約 詳細は HP にて）

学校説明会:10/2(日),8(土),22(土),29(土),11/3(祝),20(日),26(土) 他

◇武蔵野星城高等学校（HPより要予約 詳細は HP にて）

学校説明会:10/8(土),9(日),22(土),11/5(土),12(土),26(土),12/3(土) 他

個別相談会:10/22(土),11/5(土),12(土),26(土),12/3(土) 他

◇NHK 学園高等学校（HPより要予約 詳細は HP にて）

学校説明会:10/1(土),11/5(土)

◇大智学園高等学校（電話、HPより要予約 詳細は HP にて）

学校説明会:10/16(日),11/3(祝)

個別相談会:11/12(土),27(日),12/3(土),11(日)

◇2022 オンライン東京私立中学高等学校説明会・相談会（詳細は HP にて）

日時：10/16(日) 10:00～16:00 参加無料 東京私立中高 171校参加

※10/8(土) 和光高等学校の学校説明会時に、個別相談も実施されます。聞きたいことなどを直接聞けるチャンスですので、興味がある人は是非参加しましょう。